

科目名	企業研究B Case Study B		選択	2単位
学期・曜日・時限	秋・金・5限		-	-
担当教員名	宮島 敏郎			
<p><講義の概要と目的></p> <p>時代の流れに伴う環境の変化の中であって、新しい競争優位を作り出すための経営戦略は企業にとって生き残りや成長のために不可欠である。ケースメソッドの手法を用いて企業の事例にあたる本科目では、現実の経営に関する出来事や状況を、テキストのケースを読み、あるいはゲスト講師（経営者）の講義を聞くことにより疑似的に体験する。その中で経営戦略や経営のディテールに触れ、問題点を見つける問題発見能力と経営戦略構築能力の育成を図る。</p> <p>複雑な現実に対峙すると、とかく思考は発散し収束させていくことが難しくなりがちである。そこで、経営学の理論やフレームワークを用いた問題の構造化に努める。一方、新しい経営戦略を生み出すためには、理論的な分析だけでなくその企業の文脈に沿った新たなストーリーを、アナロジーや組み合わせ思考、アブダクションなどを用いて描きだすことが求められる。</p> <p>ケースの授業の醍醐味は、分析や解決策を披瀝し合い意見交換を行う双方向性にある。そのやり取りの中で多様な考え方に触れることで、思考の幅を広げあるいは深めていくことを目指す。</p>				
<p><講義計画></p> <p>1週目 : ケースメソッドの意味や手法など概論について講義する。</p> <p>2週目 : 「塩川酒造」のケース①</p> <p>3週目 : 「塩川酒造」のケース②</p> <p>4週目 : 「塩川酒造」のケース③（塩川酒造社長、塩川和広氏をゲスト講師として招聘）</p> <p>5週目 : 「カモ井加工紙」のケース</p> <p>6週目 : 「コマツ」のケース</p> <p>7週目 : 「スルガ銀行」のケース</p> <p>8週目 : 「ルミネ」のケース</p> <p>9週目 : 「バイオテックジャパン」のケース</p> <p>10週目 : 「日本交通」のケース</p> <p>11週目 : 「いちごカンパニー」のケース①</p> <p>12週目 : 「いちごカンパニー」のケース②（代表取締役、小野貴史氏をゲスト講師として招聘）</p> <p>13週目 : 「いちごカンパニー」のケース③</p> <p>14週目 : 「いちごカンパニー」のケース④</p> <p>15週目 : まとめ</p>				
<p><講義の進め方></p> <p>ケースは前週の講義時に配布する。本科目では「ケース教材」「ゲスト講師の講義」をもとに分析を行うが、事前に配布するケースや資料を良く読んでくることを前提とする。ケースによっては、クラスをグループ分けしてグループで討議や報告の作成を行う。グループ討議は、一人で分析の不備や非論理性について修正しうる機会となる。ゲスト講師の講義は、各グループが事前に複数の質問を用意して臨む。クラス討議は全員参加で、多様な考え方を披瀝しあう場とする。</p>				

<参考書>

- ・高橋広行・徳山美津恵・吉田満梨 『ケースで学ぶケーススタディ』 同文館出版
- ・小樽商科大学ビジネススクール 『MBAのためのケース分析』 同文館出版

<成績評価方法>

- ・欠席 6 回以上は成績評価しない。
- ・毎回のレポートとテスト (70 パーセント)。
- ・毎回の講義で行うディスカッションへの参加 (30 パーセント)。

<履修条件> ディスカッションに積極的に参加すること。

<DVD による視聴> 可

<オフィスアワー> 金曜 17:00~18:00

<その他>

- ・ケースの読み込み、あるいはプレゼン資料の作成のために 2 時間程度の予習が必要である。
- ・本科目は、学内 SNS を連絡と情報交換のツールとする。